



獅子舞いを奉納する若連中

郷土色豊かな 糠内の獅子舞い

笛、太鼓にあわせて舞う、郷土色豊かな糠内の獅子舞いが、九月十三日の秋祭りに、糠内神社に奉納されました。

獅子舞いは、明治三十七年、糠内に神社を設立するにあたって、かつて郷里で奉仕したことのある吉田多吉、小林伊一郎の両氏が指導したものが引きつがれ、以後、毎年秋祭りに奉納され、今日までつづいております。

この獅子舞いは、一部の方々にしか知られておりませんでしたところ、最近になってテレビなどで取りあげられるようになり、多くの方々に知られるようになりました。

剣、鎖鎌、薙刀などで大獅子にたち向う奉納舞いの見事さに、古老は遠い開拓時代を、なつかしく思いだし、熱演する若連中におしみなく拍手をおくっております。

**火気を取扱う季節です。火の元に充分
気をつけましょう**

秋の火災予防旬間が、十月十五日から三十一日までの間、全道一斉に展開されます。最近、石油ストーブの使用が増えています。火気を取扱いには十分に注意いたしましょう。

また、石炭ストーブをご使用の方は、定期的な煙突の掃除を励行しましょう。

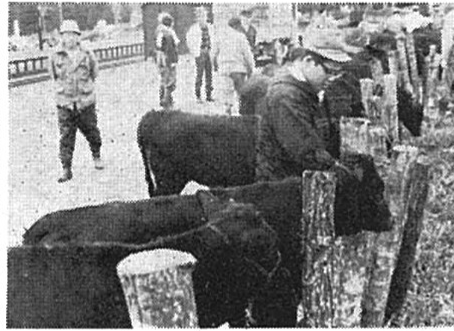
なお、消火器をご希望の方は、お近くの消防団にご連絡ください。

幕別町を“肉牛の基地”に

和牛の飼育者が増えています

「牛」といいますと、町内の皆さんは、乳房のたれさがった乳牛を想像なさると思います。事実、町内で飼育されています「牛」は、ほとんど牛乳をしぼるホルスタイン種ですが、最近「牛乳をしぼらない牛」も増加の傾向をしめしております。

戦後、日本経済の発展にともない、食生活の面も向上、肉類の消費量も年々増加し、肉資源の不足さえ心配されております。このた



幕別駅土場に着いた和牛

め、ホルスタイン種まで肉牛として売買される有様で、有畜農業を強く推しすすめている町にとっても困り、一方、牛を売る方も、農

業経営の安定という面からみますと、たいへんな損をしていることになりま

す。そこで、町では、肉にする牛を各農家に飼育してもらい、堆きゅ

う肥の増産・現金収入という一石二鳥の計画を樹てました。

肉用の牛とは、皆さんもご覧になったことがあると思いますが、黒い牛、すなわち和牛のことで、飼育にあたっての管理にほとんど手間がかかりません。

昭和四十年に、町では百頭の肉牛を本州府県から購入、町内の飼育希望農家の方々に貸付け、その結果をみておりましたところ、たいへんに良い成績をあげましたため、このほど更に五十頭を福島県その他から購入、駒畠、中稲志別、豊岡、新和などの各農家に貸付け

てます。心土破砕耕を実施すると次のような効果があります。土をやわらかくする：下図のよ

うに堅い下層土や、犁底盤をこわす。土を

め、作物の生育不良のところ

が意外に多く、このようなどころは、ぜひ必要です。

ころは、ぜひ必要です。土をやわらかくする：下図のよ

うに堅い下層土や、犁底盤をこわす。土を

うに堅い下層土や、犁底盤をこわす。土を

心土破砕耕で作物を増収しましょう

つています。こんなところも必要です。

4、牧草地や果樹園は、永年の間に下層が堅くなります。心土破砕耕をおこなうと効果的

な

1、重粘地には絶対必要です。

2、火山灰地で下層土が堅いた

いたしました。

町では、今後とも肉牛を導入するとともに増産を推しすすめ、常時千頭を飼育、また、消流の面に

軽自動車の取得、廃車の際はお届けください

軽自動車の取得、変更、廃車のさい、排気量一二五CCまでは役

場または支所、出張所へ、一二五CCをこえる車は陸運事務所へ届出ることになって

います。最近、所有者の名義変更による喪失、取得の場合は、車のナンバ

も水はけが良くなるので、根くされができません。

空気と水が根に必要なだけ適当に保たれるようになる。

作物の増収効果があります。これまでの試験では、すべて二割以上の増収となっています。

なお、施行料その他くわしいことは、町役場、農業改良普及所、幕別・札内農業協同組合に、おき

きください。

についても検討を加え、ゆくゆくは肉牛の基地とする、という計画をもっておりま

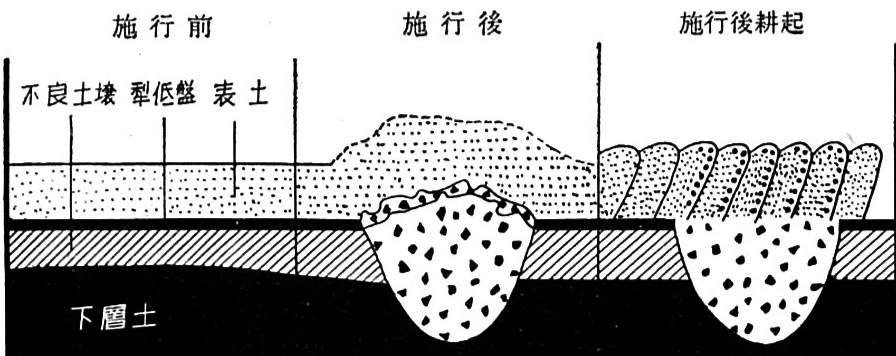
す。各農家の方々のご協力を、特にお願いいたします

。一は変わりませんが、この場合は双方で届出なければなら

ないことになって

おります。その他、ご不審の点がありましたら、遠慮なく、

町役場税務課でお聞きください。



自治振興に大きな功績

木川さんら 20名 開町記念日に功労者を表彰

に設けられました「町自治功労者表彰条例」にもとずき実施されたもので、三十六年、三十七年、三十八年にも、それぞれ表彰式をおこなっており、今回で第四回目にあたります。表彰された方は次の通りです。カッコ内は年数。

山田 栄 (十三年七か月)
石田 勝市 (十三年十一か月)
木川政二郎 (十二年一か月)
加藤 秀雄 (十二年一か月)
長尾 玉市 (十三年一か月)
一宮 四枝 (十五年九か月)
角田 信夫 (十五年九か月)
山田 みき (十五年九か月)

十月一日の開町記念日に永い間本町の自治振興にたつた二十名の方々が表彰されました。この表彰は昭和三十六年

富谷 武夫 (十五年)
高橋 邦夫 (二十年)

沢田政太郎 (十二年九か月)
佐々木 正 (二十年一か月)



表彰された方々の記念撮影

- 小尾 逸平 (二十年一か月)
- 二川 要 (二十年一か月)
- 児玉養之助 (二十年一か月)
- 西川 薫 (二十年一か月)
- 淡 良三郎 (二十年九か月)
- 勝山 薫 (十四年四か月)
- 森原 四郎 (十五年二か月)
- 渡部 実 (二十年一か月)

敬老会を開きました

第十八回目の敬老会が、九月八日午前十一時から町民会館で開かれました。

この日の出席者は約二百七十名。中島町長の式辞があったのち、八十八歳の米寿を迎えられた谷内ツタさん(糠内)砂田きくいさん(美川)水野シツさん(猿別)佐藤三郎さん(錦町)郷司文吉さん(宝町)に、記念品を贈って、その長寿をたたえました。

また、ことし七十五歳となり、敬老年金受給該当となった方々に敬老年金証書を差しあげ、今後とも元気で暮してくださいと、はげまし、参加者の健康を祝って祝宴に移りました。

次のような篤志寄付をいただきました

- ◆札内市街の宗内ヨミさんは、夫・伝松さんの香典返しを廃して金二万円を町社会福祉協議会に寄付いたしました。
- ◆札内市街の宗内喜代志さんは、亡父・伝松さんがお世話になりましたと、金一万円を札内老人クラブに指定寄付いたしました。
- ◆札内市街の笹島喜八郎さんは、町議会議員退職を記念して、金一万円を札内老人クラブに指定寄付いたしました。
- ◆宝町の芝木梅さんは、夫・栄治さんの香典返しを廃して、金五万円を町社会福祉協議会に寄付いたしました。
- ◆寿町の金谷辰巳さんは、父・恵一さんの香典返しを廃して、金一万円を町社会福祉協議会に寄付いたしました。
- ◆辰巳ずしとみかど食堂では、敬老会に際し、老人福祉のために使ってくださいと、金一封を町社会福祉協議会に寄付いたしました。

芝木栄治さん永眠

町農業委員会会長の芝木栄治さんが、去る九月十五日に死去し、十七日に町農業委員会、新田牧場の合同葬儀が、誓教寺で執行されました。

芝木さんは、昭和十五年四月幕別村会議員に当選、同三十年四月まで町議会議員の席にありこの間、二代目の議長に就任するなど、町の発展に、たいへん

功労がありました。

昭和三十五年七月には農業委員会委員に当選、同三十八年七月から会長となり、現在にいたっていたほか、都市計画委員、民生委員推選委員長、保安協会副会長、振興公社理事、町史編纂委員、身障者幕別分会長などの公職にあり、その死は各界からおしまれております。享年五十七才。



写真は合同葬儀の様

訂正

九月号本紙、商工会盆踊り記事、中、美濃道議会議員とあるは美濃衆議院議員の誤りにつき、つしんで訂正いたします。

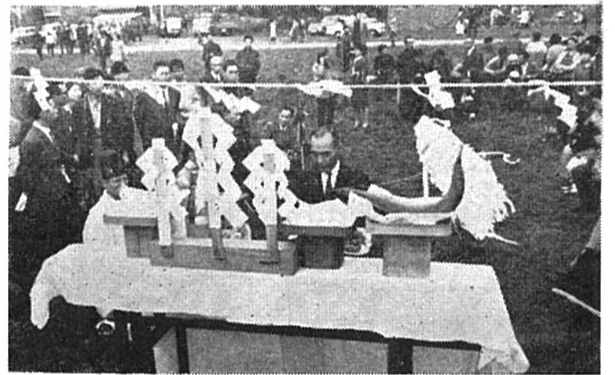
秋
第15回 あきあじまつり
墓別町 墓別町商工会



第15回秋味まつりは、幸いにも好天に恵まれ、千代田堰堤に足を向けた人々は、ざっと15,000人あまり。特に、本町側で実施された綱引き実演と広場での演芸会に人気集中しました。



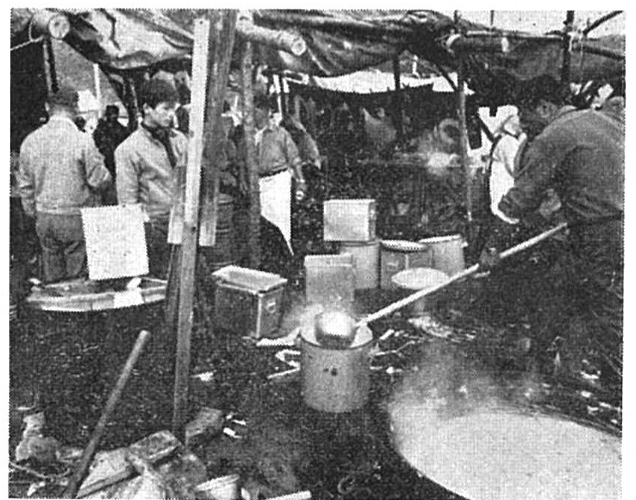
千代田捕獲場の地像堂で、物故者の慰霊祭を執行



秋味供養祭を、供養塔前で、おごそかに執行しました

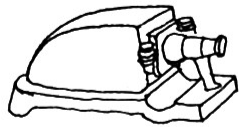


遠く南富良野、または十勝管内各地からの団体、それに町内の団体さんと、広場は一大宴会場と化し、それぞれ楽しい一刻をすごしました。



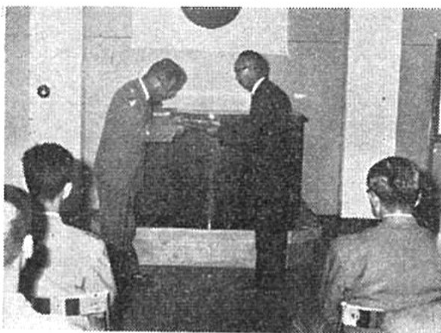
名物「秋味汁」に注文が殺倒、裏方さんはタネの仕込み、盛りつけに大奮。それこそ、戦場のような忙しさでした。

町内 あらか ると



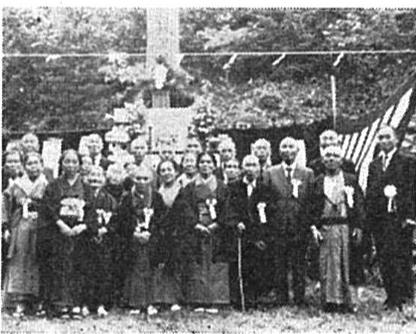
日新道路改良工事完成

七月十五日から帯広自衛隊の、部外工事として進められておりました日新道路改良工事が、予定通り九月十四日に完成、この日、地区の方々も多数参加して「完成引渡式」を、十勝教職員研修センターで開催しました。



写真は完成引渡式

工事前は、車馬のすれ違いにも危険がともなっておりましたが、延長九百八十五呎を巾員六・五呎に広げ、見通しの悪いカーブは切り開かれ、見違えるような道路となりました。



開拓功労者の記念撮影（記念碑前で）

糠内開拓七十周年記念式

五位団体が糠内原野に入植してから、こととして七十年目にあたるところから、

なりました。

ところから、去る九月十三日に、糠内開拓記念碑前で開拓物故者の慰霊祭と糠内中学校で記念式典を開催いたしました。

記念式典では、糠内の地に入つて以来、地区の発展に功労のあった山田チカさんから三十一名に感謝状と記念品を贈り、その労をねぎらいました。

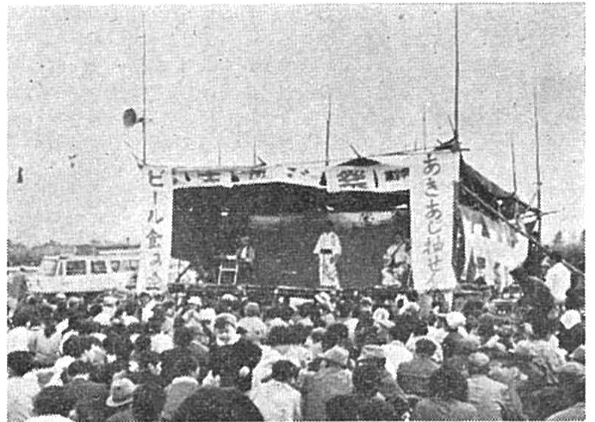
第二分団にタンク車配置

札内地区の発展と各家庭で石油ストーブの使用が増えたため、このほど第二分団に消防タンク車を増配置しました。

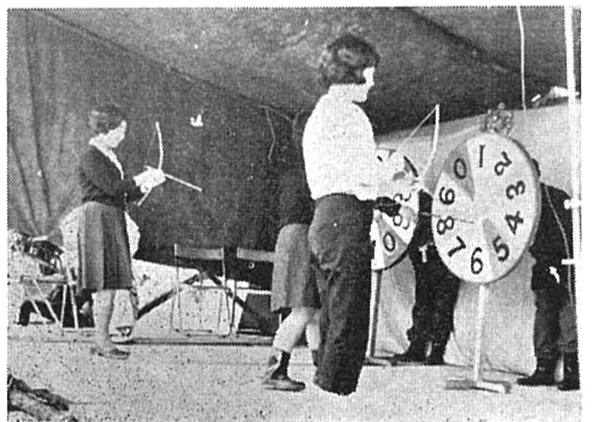
このタンク車は、常時、化学消



9月8日の入魂式風景



歌あり踊りありの演芸会。飛び入りで舞台にあがったお年寄りもいました。



特大秋味の当る抽選会風景。あちこちで、ため息がもれていました。



ビールの早飲み会。予選、決勝とプロ野球なみ優勝者のタイムは15秒でした。

注意 無登録犬は薬殺します

野犬一掃期間にご協力ください

最近、野犬による被害が増加しております。これら野犬の被害を防ぐため、十月一か月間を野犬一掃期間と定め、役場または支所、出張所で登録を受けつけております。未登録の犬を飼育している方は、直ちに登録の手続きをとってください。登録料金は一頭三百円となっております。

現在、幕別町内には、約八百から千頭の犬がいると推定されています。このうち、狂犬病予防法によって登録された犬は四百頭、春の予防注射を受けた犬は三百八十頭と、きわめて低調で、一方、他地区からの捨て犬があつたをたらず野犬は増加の一途をたどっています。

町では、帯広保健所の協力を得て、年間二、三回野犬掃とうを実施していますが、野犬は、いっとうに減る様子はなく、町民の皆さんの良識ある犬の飼育を、お願いする次第です。

十月一杯の登録期間が終了すると、無登録犬の所有者は、狂犬病予防法違反として、三万円以下の罰金に処せられ、野犬は町の野犬

なお、生後九十一日以上の子犬を所有している方は、次の点をお守りください。

- 1、毎年四月に登録し、春秋二回の予防注射を受けること
- 2、必らず、つないで飼うこと
- 3、不要犬は、保健所につれていくこと。

「エタロン号」の顕彰

彰碑除幕式

種雄馬「エタロン号」の顕彰碑除幕式が、九月十二日に幕別神社境内で開催されました。

エタロン号は昭和二十三年にフランスで生産され、幕別農協で供用したのは昭和二十八年から四十四年まで、この間、生産した千六百二十一頭のうち種牡馬七十四頭系統種牡馬四十六頭に達し、北海



完成したエタロン号の碑

道の馬匹改良に大きな功績を残し去る二月三日に斃死しました。なお、碑文の「名駿を讃える」は町村道知事の書。

自衛隊で自衛官募集

自衛隊では、ただいま自衛官を募集しています。

応募資格は十八歳以上、二十五歳未満の中学校卒業程度以上の学力がある日本国籍の男子となっています。詳しいことは役場総務課または自衛隊帯広地方連絡部にお聞きください。

自動車税(第2期)

納期限は10月31日です
納期限内に完納しましょう

十 勝 支 庁

漬物展や開拓記念物展など

町内6か所で「公民館まつり」

幕別・札内では芸能大会を開きます

「つり」を盛大に開催することになりました。隣近所おさそいあわせで、近くの会場におこしく下さい。現在予定されております内容は、児童・生徒の図画書道展、菊花、盆栽、銘石展、生花展、写真展などですが、ことしの各会場の特色は、何れの会場でも開拓記念物展を計画していることで、開拓時代に使われた品物の数々が出品されることになっております。

また、各会場とも、それぞれの地域カラーを出そうと、農産物展および即売会、つけもの展示会、学芸会、芸能大会、児童・生徒の音楽交歓会などが開催されることになっており、盛況が予想されております。

(日程)

- 幕別公民館 一、二、三日
- 札内公民館 四、五日
- 糠内公民館 三、四日
- 駒島公民館 六、七日
- 古舞公民館 二、三日
- 途別公民館 二、三日

日一日と秋が深まり、菊の花もちらほらと咲きはじまりました。さて、ことしも文化の日を中心に、町内六か所の公民館で「公民館まつり」

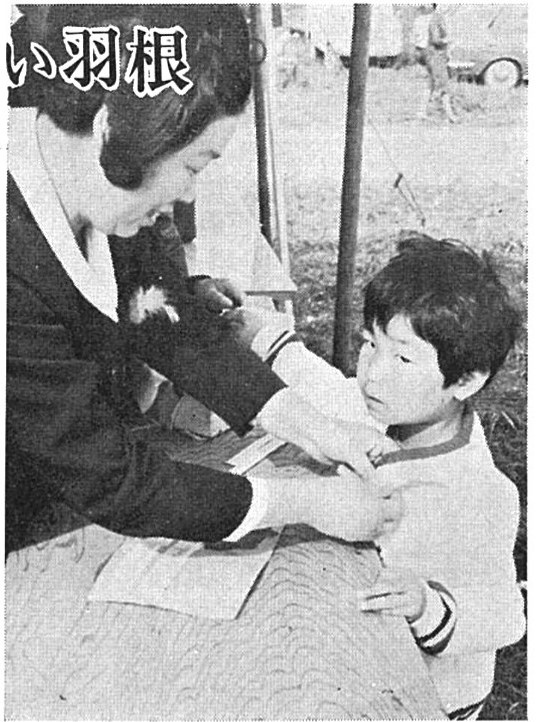
明年は開道百年です
北海道旗は、開拓使が使用した北辰旗と、当時考えられていた七稜星のイメージを現代的に表現したものです。
北の海や空を意味する濃紺の地色、星を囲む白は風雪を表わし、七光星は道民の不屈のエネルギーを意味し赤を使っております。

北海道旗



良い子の胸にも赤い羽根

共同募金にご協力ください



ことしも「赤い羽根共同募金」の十月が、めぐってきました。共同募金は町民の皆さんの温かいご理解によって、いつも良い成績をおさめており、心からお礼申しあげます。私たちは、貧しければ貧しいほど、苦しければ苦しむほどおたがいに助けあって暮らしてゆきたいものです。日本中みんなが、しあわせになるためにたすけあうのが「赤い羽根共同募金」にこめられた願いです。

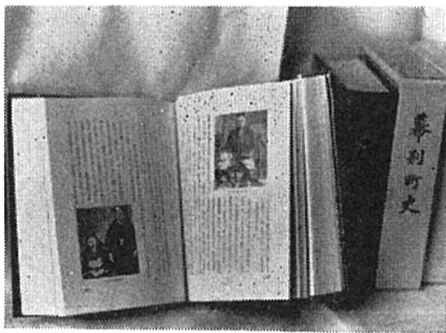
ことしは、赤い羽根が七十万円となっております。このうち、十九万三千五百円は北海道の共同募金会におさめられて道内にある老人ホームや母子寮、

「幕別町史完成」

開基七十年を記念して編さんですすめておりました幕別町史が、このほど完成いたしました。

町史の内容は、幕別町の自然、総説、先住民族のほか、行政、産業・経済、社会・文化の三編にわけて書かれており、総頁数は九百二十七頁。

なお、印刷部数は少なく、町民の皆さん全員に差上げることは出来ませんが、残部が少々ございませぬ。頒布金額は町で一部を負担し



完成した幕別町史

希望者におかけします。千八百円となっておりますので、ご

保育所、乳児院、身心障害者の施設など、民間で経営されている施設に配分され、気の毒な方々を救う資金となります。残りの五十万六千五百円は、町の社会福祉協議会に配分されて、生活保護を受けている家庭や母子家庭、お年寄り体の不自由な方々の福祉をすすめるために活用されています。

最近の新聞で、共同募金が、すべて、たすけあいのために使われていないような印象をうける報道がなされましたが、北海道に例をとりますと、道内には約四百の民間社会福祉施設や社会福祉協議会などの団体があり、恵まれない人たちのお世話をしております。共同募金は、これらの団体を通じて同募金は、これらの団体を通じて幸せの薄い人たちに配分されているのです。

「たすけあいは町内から買いましょう」

本町の社会福祉協議会にも、昨年三十七万七千九百七十三円の配分があり、その他、歳末たすけあいの募金や町からの交付金をあわせて、暮しに困る家庭に百二十五万九千二百三十八円の見舞金をさしあげました。また、母子家庭や、お年寄り、手足の不自由な人たち、戦没者の遺族の方々の幸せのために、青少年や子供たちの福祉のためにも、効果的に使われています。

希望の方は、町役場総務課までご連絡ください。

編さん委員会解散

第九回町史編さん委員会および町史編さん委員会の解散式が、九月二十九日午後、依田の十勝教職員研修センターで開かれました。

この日の委員会では、町史の完成にともない、各種団体および他町村への寄贈冊数を確認したのち購入希望者にたいする頒布価格などを決めました。

なお、この第九回委員会では、三十九年からの町史編さん業務は総



写真は最後の委員会風景



(三)

和人の入植(その一)

記録のうえで、幕別に最も早く入地した者は、明治十五年に入った細谷十太夫でした。細谷

は農業を目的に入地したか、単なる視察のためかは不明で、のち、仙台藩時代の同僚、武山土平を十勝の地に呼びよせております。

細谷は六十二万石の仙台藩で五十石取りの大番士でした。慶応四年、血なまぐさい風が吹きまくっていた時、細谷は隠密として活躍、のち、博徒を集めて「衝撃隊」を結成、おおいに活躍しました。衝撃隊は通称「鴉組」とよばれ、隠密時代から鴉

組解散までの経過は、子母沢寛が「からす組」の題名で小説にしております。

幕別に入地し、開拓に従事した記録で最も古いのは、永井三治という人です。宮城県人・永井三治は、明治二十二年、現在の利別から止若の地に移住、開墾に従事した。場所は現在の相川、箕浦町議宅がそれで「永井の開墾畑」と言われていました

永井三治は文政六年(一八二二年)宮城県黒川郡宮床で生まれた。父は永井潤太夫武利といひ宮床藩の筆頭家老、三治はその長男。藩主、伊達六郎の名前を半分もらひ、永井三良左衛門源武信と名付けられた。

明治維新により、宮床藩は朝敵として土地を取りあげられた藩主・伊達は明治政府に願ひ出て北海道移住を決議し、開拓地として許可された狩太の地の先発隊を三良左衛門に命じた。三良左衛門は、明治維新により三治と改名し、数人の部下をつれて渡道、開拓地を視察、入植出来る場所ではないと見切りをつけ、帰りに藩主から渡された金で魚を買い、売りさばきをはか

警察の窓

狩猟の季節です、事故に注意

しましょう。

十月一日から狩猟シーズンに入りました。猟銃などをお持ちのかたは、その手入れや狩猟の際に、じゅうぶんに、気をつけ、事故のないようにしましょう。銃の手入れはタマの有無を確かめ、他人のいないところでしましょう。

狩猟に行くときはタマを抜き、安全装置をかけ、必ずケースに納めましょう。

獲物を撃つときでも獲物かどうがよく確かめてから撃ちましょう。どんなに仲のよい人にも銃を貸すのはやめましょう。

雑こくの盗難を予防しよう

収穫の秋をむかえて農家の皆さんお忙がしいことでしょう。

しかし、これから雑こくの盗難が多くなります。まだ本町においては雑こくの盗難は一件もありませんが、ちょっとした隙に盗難にかかるといけません。いくら忙しいからいくら疲れていても、収穫した農作物を畑に置くことはやめて、必ず、カギのある倉庫や納屋に取り

込みましょう。

また、見なれない自動車がうるついているようなときは部落全部で看視をしよう。

町内から酒酔い運転を追放しよう

最近酒に酔って車を運転する人が非常に多くなつて来ました。幕別町内でも九月中旬に酒酔い運転で逮捕や検挙された人が八人もいます。酒酔い運転は他人ばかりでなく自分の命もちぢめます。家族の中から、町内の住民の中から酒酔い運転をする人を追放しよう。

郵便局たより

郵便貯金奨励運動を実施中

郵便局では「住みよい郷土をつくる郵便貯金奨励運動」を実施しています。

あなたの郵便貯金は、あなたの町の学校も、病院も、橋も、道路も、住宅も、日本の国の隅々まで住みよい郷土をつくるために、大きな働きをしています。ぜひ、ご協力ください。

料金支払いは局の自動振替で

毎月の各種料金の支払いに郵便局の自動振替を、ご利用ください

郵政省では、電話料など、わずらわしい毎月の料金支払いから奥さまを解放して、その余暇を有意義にご利用いただけるよう「郵便局の自動振替」制度の利用を、おすすめしています。

詳しいことは、お近くの郵便局でおたずねください。

工業新製品試作研究

事業に補助金を交付

道では、中小企業振興対策の一環として、工業新製品の新規開発または品質の向上を図るための試作研究をおこなう企業者の事業にたいし、補助金を交付しておりますが、ことしも一般企業者からの申請を受け付けております。補助の対象は次の通りです。

- ①原、副材料の購入に要する経費
- ②治具、工具などの購入、製造または改修に要する経費
- ③設計依頼または技術指導に要する経費
- ④外注による加工に要する経費
- ⑤その他知事が特に認める経費

なお、補助金の交付を受けようとする企業者等は、正副二通の申請書を、十月三十一日までに知事あて提出しなければならぬことになっております。詳しくは町役場産業課商工係にお聞きください。